

平成22年4月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	43,137,282 万円	100.0%	99.3%(98.2%)	41,266,769 万円	96.7%(95.6%)
食 料 品	35,703,014 万円	82.8%(82.4%)	99.9%(98.4%)	34,127,799 万円	96.9%(96.0%)
農 産	5,361,697 万円	12.4%(12.1%)	102.7%(101.5%)	5,137,187 万円	99.6%(98.7%)
水 産	3,689,710 万円	8.6%(8.8%)	99.3%(98.3%)	3,528,038 万円	96.5%(95.7%)
畜 産	4,118,503 万円	9.5%(9.4%)	98.9%(96.7%)	3,931,789 万円	95.9%(96.2%)
惣 菜	3,656,192 万円	8.5%(8.4%)	100.8%(99.3%)	3,489,087 万円	96.6%(96.4%)
日配食品	7,952,812 万円	18.4%(18.2%)	99.6%(98.5%)	7,595,505 万円	96.7%(95.8%)
加工食品	10,924,100 万円	25.3%(25.4%)	99.1%(97.4%)	10,446,193 万円	96.3%(94.8%)
生活関連	3,224,155 万円	7.5%(7.3%)	98.4%(97.7%)	3,088,106 万円	96.2%(94.4%)
衣 料 品	1,628,774 万円	3.8%(3.7%)	87.6%(90.3%)	1,567,277 万円	89.0%(88.7%)
そ の 他	2,581,339 万円	6.0%(6.6%)	100.6%(100.9%)	2,483,587 万円	99.8%(96.3%)

② 数 値

全店総売上高	43,137,282 万円	店 舗 数	3,943 店舗
総売場面積	7,329,699.5 m ²	総従業員数	213,587 人

店舗平均月商	10,940.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,791 円(96.5%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円(5.9 万円)	平均店舗面積	1,858.9 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円(19.5 万円)	パート比率(前月)	76.5%(76.5%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・前月に比べ、多少下げ止まり傾向はあるが、まだまだ厳しい売上状況が続いている
- ・今月は気温の変化が大きく、花見、行楽シーズンに向けて売込商品が絞り込めなかった
- ・引き続き節約志向でお客様の財布のひもは固いと感じられるが、内食傾向から弁当商材は好調だった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・天候不順の影響により、3月に引き続き野菜相場が高騰し、主力野菜は全て相場高で推移、春キャベツ、レタス、ほうれん草、新じゃがいも、新たまねぎ等が高い
- ・相場高騰の影響を受け比較的相場に左右されない、きのこ類、土物が好調、カット野菜・もやし・茹でたけのこも好調だった
- ・果物は引き続きバナナを中心に不振、健康ブームを反映してドライフルーツが好調だった

○ 水産

- ・主力商品のスルメイカ・真アジが不漁で高値となり、代替えで解凍さんま、冷凍スルメイカ、活アサリの販売を強化した
- ・旬のホタルイカは安値安定で販売しやすかったが、初ガツオは相場も安定せず入荷も少なかった

○ 畜産

- ・牛肉、豚肉、鶏肉ともに引き続き売上が不振であった
- ・口蹄疫に関して、農水省の安全性に関する報道等が浸透しているせいか、牛肉、豚肉の販売動向に影響は見られない
- ・全体として気温が低かったことから、焼肉商材よりすき焼き商材が好調だった

○ 惣菜

- ・低気温の影響を受け、例年春休み以降に動きが良くなる枝豆、涼麺セットは大きく前年割れ、肉じゃが、あんかけ等の和風惣菜、揚物全体が好調だった
- ・野菜の高騰からサラダ類、特に生野菜サラダ、ほうれん草の胡麻和えが好調だった
- ・引き続き低価格弁当、低価格おにぎり等は好調だった

○ 日配・加工食品

- ・気温が低かったことで、アイス、飲料、冷やし中華、豆腐等の涼味商材は不調、逆に中華マン、焼き豆腐、こんにゃく、しらたき等のホットメニューが好調だった
- ・サラダ野菜の高騰を受け、ドレッシングの販売が減少した
- ・飲料全体は気温の低下で苦戦したが、レギュラーコーヒー、紅茶、ココアの動きがよかった。ホット飲料の動きに連動してビスケット、半生菓子がよかった
- ・今、話題の商品として、黒豆、ラー油、シナモン等は、店頭での品薄状態が続いている

○ その他

<花見、行楽シーズン>

- ・お弁当商材、おつまみ、飲料、お酒等の行楽商品は、天候が恵まれず不振であった
- ・花見は、気温が低かったこともあり、花持ちがよく長く楽しめた半面、夜桜には適さなかった。花見需要は期待薄であった

<ゴールデンウィーク前半>

- ・期間中天候に恵まれたことで外出する機会が多かったせいか、夕方に買物が集中した
- ・ETC効果による帰省・行楽を期待し、飲料、行楽弁当等の需要を見込むが、ゴールデンウィーク前半は不振であった

以上